

令和8年度 山梨県立韮崎高等学校 第1回 学校運営協議会（会議録）

日時：令和8年6月5日（金） 14：30～15：50

会場：山梨県立韮崎高等学校 視聴覚室

【委員】	横山 美和子	韮崎市若宮自治会会長（欠席）
	水上 信哉	令和8年度PTA会長
	有泉 綾子	本校同窓会副会長
	上野 政巳	本校定時制PETA会長
	輿水 達司	山梨県立大学客員教授
	根津 昭彦	韮崎市財務政策課課長
	山田 七穂	地元企業役員
	渡邊 史	韮崎市立韮崎東中学校校長
	赤岡 正毅	本校元校長（欠席）
	内藤 香織	NPO法人子育て支援センターちびっこはうす理事長（欠席）
	【学校教職員】 小笠原 宏	校長 ＊委員を兼ねる
	坂本 容崇	全日制教頭
	手塚 清孝	定時制教頭
	中山 康子	事務長
	川村 穰	全日制教務主任 ＊委員を兼ねる

【次第及び会議要旨】（司会 全日制教頭）

- 1 はじめの言葉（司会）
- 2 学校長挨拶
 - ・ 人事異動に伴う管理職紹介。
 - ・ 学校運営協議会は、保護者及び地域住民の皆様の学校運営への参画と支援・協力を通して学校運営の改善と生徒の健全育成を図るとともに、開かれた学校づくりを推進するために設置されている。委員の皆様には、忌憚のないご意見を頂戴したい。
 - ・ 委員の委嘱に関して、今年度から教育委員会からの委嘱状が廃止されたため、資料2ページの名簿をもって委嘱とさせていただきます。
- 3 学校運営協議会委員紹介
 - ・ 司会が名簿順に委員を紹介した。
- 4 学校運営協議会会長・副会長選出
 - ・ 会長に上野政巳様、副会長に有泉綾子様を選出した。
- 5 会長挨拶
- 6 議事（議長 会長）
 - （1）令和8年度山梨県立韮崎高等学校学校運営基本方針について（校長）
 - ①学校要覧に沿って学校の様子を紹介
 - ②配付資料の内容について説明
 - 山梨県教育振興基本計画及び指導重点について
 - ・ 山梨県教育振興基本計画の内容及び今年度追加された県の教育方針について説明した。
 - 指導重点について（全日制）

- ・昨年度と内容は変わらないが、教育方針に「人間は教育によってはじめて人間となる」というドイツの哲学者カントの理念を追加し、各ポリシーで文言を統一した。

○年間行事予定について（全日制）

- ・昨年度からの主な変更点は、会場としてお借りする東京エレクトロン葦崎アリーナの関係で体育祭を10月から6月へ日程を変更した。また、働き方改革も踏まえ、強歩大会の翌日を9月20日の創立記念日の振替とした。

○令和7年度卒業生進路状況について（全日制）

- ・国公立大学に75名合格。生徒の努力に加え、本校教職員の熱心な指導による成果。

○生徒指導について（全日制）

- ・自転車通学者にはヘルメット着用を校則で明記した。

○SSHについて（全日制）

- ・次回の第2回学校運営協議会で次期申請に向けたグランドデザインを説明する予定。
- ・昨年度まで休日に開催していた年2回のグループ課題研究を平日開催に変更した。
- ・昨今の価格高騰の影響により、来年度の鹿児島科学研修は変更を検討している。
- ・令和7年度の校外発表等で優秀な成績を収めた2つの研究を紹介した。

○部活動について（全日制）

- ・部活動加入率が93.7%と高く、多くの生徒が文武両道を実践している。
- ・教員定数が削減される中で、専門の指導者の確保が課題となっている。

○指導重点について（定時制）

- ・令和6年度に大幅に変更したため、全日制と同様の変更以外には変更なし。

○定時制の概況について

- ・5月の定通総体では、陸上部とソフトテニス部で全国大会の出場権を獲得した。
- ・通信制高校への進学率の高まり等による影響で在籍者数は減少傾向にあるが、中学時代に欠席が多かった生徒も、少人数教育の中でしっかり卒業している。

《質疑要旨》

（委員）定時制では資格取得に向けてどのような指導を行っているか。

（教頭）定時制では資格取得を一つの目標に掲げており、家庭科の検定を授業と絡めながら受験をさせたり、漢字検定等の受験希望者を募って受験をさせたりしています。特に昨年の漢字検定では、定時制の中で実施ができる人数が集まり、定時制の生徒の学びに対する意欲が以前に比べて高まってきたと感じます。

（委員）野球部の部員数が13名で、夏の大会が終了して三年生5名が引退したら、おそらく一年生と二年生では試合に出られない状況になる。来年一年生が野球部に入ってくればいいが、それまでの期間は葦崎高校の野球部としては試合に出られなくなると思うが、どこかの学校と一緒にあって試合に出るのかなど、どのようにお考えか。

（校長）これは野球部に限らず、どの部にも共通していることです。どの学校も野球部の部員が減ってきている状況で、夏以降はおそらくいずれかの高校と合同チームで秋季大会等の公式戦に出ることになると思います。

（委員）合同チームになった場合、練習場所をどう確保するのかという問題が出てくる。練習試合も含め、うまく合同練習をできるような環境づくりをしてほしい。

- (委員) 今の野球部のことで、例えば部員数が多いサッカー部から野球部に選手を貸し、葦崎高校として野球部を試合に出すようなことはできないか。
- (校長) 部活動というのは生徒たちの自由意志に基づいていて、サッカー部の生徒はサッカーをやりたいくてサッカー部に入ってきます。サッカーをしている仲間がいる中で、自分だけ野球部にお手伝いに行くことは希望しないのではないかと思います。
- (委員) 校長先生の言葉にもあるように葦崎高校は文武両道だから、文化系のクラブから野球部にお手伝いに行くような、そういうやり方も今の時代だからあってもいいのと思うが。
- (校長) 生徒は自由意思で自分がやりたいものを選んでいるので、なかなか難しいです。

第1号議案 原案通り承認

- (2) 令和8年度山梨県立葦崎高等学校学校評価報告書について
- ①令和8年度山梨県立葦崎高等学校（全日制）学校評価報告書について説明（全日制教頭）
 - ②令和8年度山梨県立葦崎高等学校（定時制）学校評価報告書について説明（定時制教頭）

《質疑要旨》

- (議長) 今回初めて委員になった方もいるので、学校評価制度の趣旨について説明をお願いします。
- (校長) 学校評価制度は、教育を改善していくための評価制度です。定時制を例にとると、本年度の指導重点に基づき、評価項目の1つめに確かな学力の育成を挙げています。確かな学力を育成するための具体的方策として、例えば、少人数学習やチームティーチングを取り入れて、丁寧できめ細かな指導を行うことを挙げています。これを達成できたか、できなかったかを方策の評価指標に挙げた学校評価アンケートで生徒や保護者に評価をお願いするという流れになります。そのアンケート結果をもとに年度末に我々が自己評価を行い、目標である確かな学力を育成できたかを検証します。そして、学校運営協議会の委員の皆様にご意見等を伺い、達成できたところから少しずつブラッシュアップをしていくというのが学校評価制度の本質的なところなんです。
- (議長) 葦崎市商工会にもそのような評価制度はあるか。
- (委員) あります。商工会の中に評価委員会があり、各項目で何%達成できたかを評価してもらい、それをABCという形で評価して、課題はしっかり改善するようにしています。目標を立てるだけではなく、それを検証し、見える化して課題を解決していくということに関して、評価制度は非常に重要だと思います。

第2号議案 原案通り承認

- (3) その他 なし

- (4) 質疑応答

《質疑要旨》

- (委員) 穂坂にあるグリーンフィールドのサッカー場は、いつもサッカー部の練習で使っていますが、人工芝が非常に傷んでいて、再整備を進めるに当たってクラウドファンディングを立ち上げて資金を集めたいと考えています。市としても頑張って資金集めをしたいと思

いますので、よろしくお願いします。

(議長) 目標金額は。

(委員) 全面を張り替えると3億弱ぐらいです。ふるさと納税を使ったクラウドファンディングを考えています。できるだけ多く集めて、一般財源からの支出を少なくしたいと思いますので、周知も含め、よろしくお願いします。

(委員) 茨城の農家の事件では16歳の高校生が関わっており、社会経験が少ない高校生が安易な気持ちで犯罪に手を出してしまうという構図が見受けられるので、学校側としてもしっかりと取り組んでいただき、生徒たちを守っていただきたい。また、部活動の安全対策について、新潟のソフトテニス部で亡くなった生徒がいる中で、生徒たちの安全対策を第一に考えていただきたい。

(校長) 匿流や違法薬物については、校内でネットモラル研修会や薬物乱用防止教室等で生徒たちに定期的に研修会を実施しています。そして、長期休業に入る前など折に触れて生徒指導係から注意喚起を行っています。また、部活動の安全対策に関しては教育委員会から通達がありましたので、それを遵守しながら今後も運営していきたいと思います。ただ、借り上げバスは年々高騰していますので、どうにかやりくりして安全対策を第一に取り組んでいきたいと考えています。

(委員) 何かあったとき、生徒たちが学校に相談をしやすい環境づくりをぜひともお願いしたい。

(委員) 何でも学校ではなく、家庭でちゃんとやればできるものがあると思うが、学校から家庭に対して情報を提供するような取り組みを行っているか。

(校長) 学校ができることには限りがあり、学校・地域・家庭の三者が協力しながら教育していくことが求められています。本校では、昔は紙を印刷して、生徒を介して保護者に通知を渡していましたが、今はBLENDを使ってオンラインで直接保護者に情報を送っています。

7 連絡事項

- ・ネクストハイスクール構想について
- ・今後の予定 10月23日(金) 第2回学校運営協議会
2月10日(水) 第3回学校運営協議会

8 情報交換

- ・議事の質疑応答で行った。

9 終わりの言葉(司会)